

庄内地域の医療体制

平成 27 年 12 月 2 日

山形県庄内総合支庁

庄内地域の医療体制

【医療施設数】

- 平成 27 年 9 月 30 日現在、一般及び療養病床を有する医療施設数は、病院 13、有床診療所 18 と計 31 施設となっている。
- 平成 27 年 9 月 30 日現在の病床数は、病院 2,538 床、診療所 214 床の計 2,752 床（一般：1,974、療養：778）となっている。

【医療従事者数】

- 平成 24 年 12 月 31 日現在の人口 10 万対医師数（177.9 人）は、県平均（225.5 人）、全国平均（237.8 人）を下回っている。
- 人口 10 万対歯科医師数（58.2 人）、同薬剤師数（146.7 人）は、県平均（59.8 人、167.7 人）、全国平均（80.4 人、219.6 人）を下回っている。
- 人口 10 万対看護師数（1244.7 人）は、県平均（1305.1 人）を下回っているものの、全国平均（1187.7 人）を上回っている。

【看護師：業務従事者届】

【医師、歯科医師、薬剤師：医師、歯科医師、薬剤師調査】

	医師（人口 10 万対）		歯科医師（人口 10 万対）		薬剤師（人口 10 万対）		看護師（人口 10 万対）	
	H22	H24	H22	H24	H22	H24	H22	H24
庄内	176.4	177.9	55.1	58.2	146.9	146.7	1201.0	1244.7
山形県	221.5	225.5	57.4	59.8	163.0	167.7	1251.0	1305.1
全国	230.4	237.8	79.3	80.4	215.9	219.6	1139.2	1187.7

【地域の医療提供体制】

新生物（悪性新生物）、循環器系の疾患（脳血管疾患）の入院患者数が多い状況にあるなか、後期高齢者の増加に伴い、呼吸器系の疾患（肺炎）や損傷、中毒及びその他の外因の影響（骨折）による入院患者が増加する傾向にある。

(1) 救急医療

- 救急搬送件数は、10,850 件、覚知から収容するまでの平均は 32.2 分。
- DPC 病院における救急患者総数は、平成 23 年 3,674 人、24 年 3,500 人、25 年 3,581 人と年々増加傾向にある。
- 初期救急医療は主に酒田市休日診療所、鶴岡市休日夜間診療所、二次救急医療は救急告示医療機関が連携し提供している。
（救急告示医療機関 7 施設）→ 日本海総合病院、酒田市立八幡病院、庄内余目病院、本間病院、鶴岡市立荘内病院、鶴岡協立病院、三井病院

- 重篤な患者に対する救急医療は、三次救急医療を行う日本海総合病院救命救急センターにおいて対応している。
- 日本海総合病院においては、救急処置室において、診療所医師が初期救急患者の診療を実施。

(2) 周産期医療

- 分娩を扱う医療機関は、現在、4 病院 110 床、3 診療所 46 床、計 7 施設 156 床。
- 平成 25 年分娩数は 2,313 件。常勤産科医師は 14 名となっており、1 人当たり分娩数は 165.2 件と、県平均 111.6 件を上回っている。
- 三次周産期医療機関として、地域周産期母子医療センターの鶴岡市立荘内病院は、NICU 等を備えたリスクの高い妊娠に対する医療、高度な新生児医療に対応している。一部のリスクの高い分娩等については、村山地域の三次周産期医療機関へ転院・搬送を行っている。
- また、日本海総合病院は、二次周産期医療機関として、比較的高度な医療に対応している。

(3) 小児医療

- 地域における自己完結率は、一定数を村山地域に依存し、72.2%となっている。
- 「平成 24 年医師・歯科医師・薬剤師調査 (H24.12 時点調査)」では、小児科医 32 人となっており、15 歳未満人口 10 万対の小児科医は 90.2 人(県全体 97.2 人の 92.8%)である。
- 小児救急医療については、夜間休日における初期救急医療は、酒田市休日診療所、鶴岡市休日夜間診療所が担い、二次救急医療は、日本海総合病院や鶴岡市立荘内病院のオンコール体制等を持つ救急告示病院等が担っている。

(4) がん

- DPC 病院におけるがん患者総数は、平成 23 年 6,560 人、24 年 6,446 人、25 年 6,143 人、がん手術患者数は、平成 23 年 1,814 人、24 年 1,851 人、25 年 1,793 人と減少傾向にある。
- 地域における自己完結率は、96.7%となっており自己完結している。部位別で見ると、胃がん、大腸がん、直腸がん、肝がん、肺がん、乳がんとも 90%を超えている。また、治療法別でも、放射線治療(入院)は 80.1%、化学療法(入院・外来)、放射線治療(入院・外来) はとも 90%を超えている。
- 地域がん診療連携拠点病院として専門的ながん診療を行う日本海総合病院、がん診療連携拠点病院に準じる鶴岡市立荘内病院を中心に、庄内余目病院、鶴岡協立病院、本間病院、遊佐病院、宮原病院と連携した標準的ながん診療を、そして地域の病院と連携した在宅療養支援を行っている。

(5) 脳卒中

- DPC病院における神経系疾患の患者総数は、平成23年1,814人、24年1,626人、25年1,778人、その救急患者数は、平成23年801人、24年699人、25年791人となっている。
- 地域における自己完結率は97.9%と自己完結している。
- 来院後1時間以内に開始する専門的治療を行う救急医療の機能を日本海総合病院、鶴岡市立荘内病院、庄内余目病院、鶴岡協立病院、酒田市八幡病院が担い、地域の病院において、身体機能を回復させるリハビリテーションや日常生活への復帰及び維持のためのリハビリテーションを行う回復期・維持期の機能を担っている。

(6) 心筋梗塞

- DPC病院における循環器系疾患の患者総数は、平成23年2,378人、24年2,459人、25年2,374人、循環器系疾患の救急患者数は、平成23年355人、24年384人、25年430人と増加傾向にある。
- 地域における自己完結率は100.0%と自己完結している。
- 来院後30分以内に開始する専門的治療を行う救急医療の機能、そして身体機能を回復させる心臓リハビリテーションの機能を、日本海総合病院、鶴岡市立荘内病院、庄内余目病院、鶴岡協立病院が担い、地域の病院において再発予防を行う回復期・再発予防の機能を担っている。

(7) 透析

- 透析を扱う医療機関は、5施設、うち夜間透析を行っている施設は4施設となっている。
- 透析患者数は年々増加傾向にあり、平成26年570人、人工透析装置台数は212台となっている。人工透析装置台数1台透析患者1人当たりの人工透析装置台数透析患者数は2.54人0.37台となっている。

【地域医療連携】

- 平成23年4月に、地域の基幹病院等の検査画像等を医療機関が閲覧できる情報ネットワーク（「ちょうかいネット」）が稼働し、病病連携、病診連携、紹介・逆紹介の推進に寄与している。〔参加医療機関数 148施設〕
- がん（肺、胃、肝臓、大腸、乳）、脳卒中、大腿骨頸部骨折、前立腺がん、糖尿病、急性心筋梗塞において地域連携クリティカルパスが運用されている。